

たきざわ社協だより

# 福祉おもいやり



## 小さい文字が読めないよ

8月26日、柳沢小学校6年生が高齢者疑似体験を行いました。高齢に伴う「耳の聞こえづらさ」「目の見えづらさ」「腕や足の筋力低下」を実感。『小さい文字を読んだり、階段を上り下りしたりするのが大変。もっとお年寄りに優しく接したい。』未来を担う子供達の心に「思いやりの芽」が育っています。

## 主な内容

- 赤い羽根共同募金が始まります…………… ②③
- お知らせ…………… ④⑤
- 寄附・川柳・親子でスマイル…………… ⑥

# 第 144号

平成23年9月15日発行

発行／社会福祉法人滝沢村社会福祉協議会

〒020-0172岩手県岩手郡滝沢村鶉飼字中鶉飼47番地1

TEL 019-684-1110・FAX 019-684-1121

Eメール takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~takisha/>

この広報紙は、共同募金配分金の一部を充てて発行しています。

# —じぶんの町を良くするしくみ— 赤い羽根共同募金運動



今年度も皆様のあたたかいご協力を宜しくお願いいたします。



▲お寄せいただいた募金は、誰もが安心して暮らせる地域づくりに役立てられます。

十月一日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。この運動で寄せられる募金は、私たちの地域で行う「福祉のまちづくり」の貴重な財源として、活用されます。今年度も、皆様のあたたかいご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願ひいたします。

## 共同募金は計画に基づいて 行う「計画募金」です

共同募金は、事前に社会福祉団体等からの要望を取り纏め、使途計画を立ててから行う計画募金です。

岩手県共同募金会が地域の様々な福祉団体から申請を受け付け、その内容の必要性・緊急性を考慮した上で配分計画を策定し、目標額を設定します。

設定された目標額を達成するため、各市町村に「全県目標額」が割当てられます。

これは、各市町村の世帯数・個人県民税などを勘案し算定され、割当てられます。

更に来年度に滝沢村社会福祉協議会が実施予定の地域福祉事業（3ページ参照）の財源として必要な額が地域目標額です。これらを合算した額が今年度の滝沢村全体の目標額です。

## 住み良い地域づくりのため ご協力をお願いします

目標額を達成するために街頭募金をはじめ様々な形でご協力を呼びかけておりますが、各世帯の皆様には500円を目安にご協力いただくと、この目標額を達成する見込みが見えてきます。（この額はあくまでも目安額です。決して強制するものではありません。）

今年度も皆様のご理解と温かいご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

**滝沢村の募金目標額  
7,400,000円**

《内訳》

**全県目標額 5,550,000円**  
(岩手県の中での滝沢村の目標額)

**地域目標額 1,850,000円**  
(滝沢村の地域福祉活動の財源)



皆様にご協力をお願いする募金より配分を受け、滝沢村社会福祉協議会では来年度、次の福祉活動を実施する計画です。

### 募金の使いみち（※募金実績額により事業が変更されることがあります。）

#### 《高齢者・障害者福祉のために》

- 訪問ふくし理容サービス事業の実施
- ふれあい送迎サービス事業の実施

#### 《児童福祉のために》

- 福祉協力校の指定による福祉教育推進
- 福祉作文コンクールの実施

#### 《福祉のまちづくりのために》

- ハートフルピクニックの開催
- 滝沢村社会福祉大会の開催
- 地域福祉ゆいづくり事業の実施
- 社協だより福祉おもいやりの発行



▲「ふれあい送迎サービス」。リフト付車両を運行し車椅子利用者の方の外出のお手伝いをしています。

運転・操作は資格を有したボランティアの皆様にご対応いただいております。



▲「ハートフルピクニック」。障がいをお持ちの方とボランティアの皆さんが登山を通してたすけあいの心を育み、地域の中でたすけあいの輪が広がることを目的に開催しております。

## 平成22年度募金から滝沢村への配分（平成23年度配分）

平成22年度の赤い羽根共同募金運動は、滝沢村では6,877,230円、岩手県全体では225,046,281円もの募金が寄せられました。その中から滝沢村社会福祉協議会、及び滝沢村内の福祉施設等に対して配分金が交付されました。

### ●滝沢村社会福祉協議会事業費として

→ 3,765,999円

### ●施設整備費助成として

《(福)プレイズザロード/ハレルヤ保育園》

→ 1,500,000円

車両整備事業

### ●滝沢村災害救援

ボランティアセンター運営費として

→ 3,000,000円

ボランティアバスの運行による被災者支援等



▲震災により甚大な被害を受けた被災者支援を目的に、ボランティアバスを運行しています。

皆様のあたたかい善意に感謝申し上げます

## 滝沢村社会福祉協議会

住所 滝沢村鵜飼字中鵜飼 47-1  
滝沢村老人福祉センター内  
TEL 684-1110 FAX 684-1121  
Eメール: takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

## お知らせ・ご案内 Information

### ひとり暮らし高齢者“さわやか友の会” 「紅葉のつどい」参加者募集!

ひとり暮らし高齢者“さわやか友の会”で「紅葉のつどい」を開催いたします。一緒に紅葉を見ながら、楽しい時間を過ごしましょう!

- 日時: 10月21日(金)
- 場所: 八幡平ハイツ
- 参加対象: おおむね65歳以上のひとり暮らしの方、日中ひとりになる方
- 参加費: 3,000円
- 集合: 滝沢村老人福祉センター前  
※10時集合とし、バスで会場まで移動します。帰りは16時頃の予定です。
- 申込締切: 10月7日(金)までに世話人、又は社会福祉協議会へ電話でお申込み下さい。
- 申込み先  

《世話人》	平野 泰子	鵜飼	687-2879
	浅利 修巳	元村	688-6451
	田中ミツ子	元村	684-4766
	滝沢村社会福祉協議会		684-1110

### 高齢者宅などへお弁当を配達する ボランティアを募集しています!

NPO 法人もりおか配食サービスでは、滝沢村内の高齢や障害のため自力で食事の用意ができない方にお弁当を配達するボランティアを募集しています。週1回、月1回の活動でも構いません。

- 配達時間  
夕食配達ボランティア  
月曜～金曜 15時～17時30分の間1時間程度  
昼食配達ボランティア  
火曜～木曜 11時～12時30分の間1時間程度
- 配達場所  
滝沢村内の利用者のお宅
- その他  
ガソリン代が支給されます
- 問い合わせ  
NPO もりおか配食サービス  
電話 648-8810  
FAX 648-8811



### 利用登録者受付中! 車いすの方の外出をお手伝いします ふれあい送迎サービス

滝沢村社会福祉協議会では、車いすに座ったままの状態に乗車することができるリフト付車輛を運行して、車いすを使わなければ外出することの出来ない方々の通院やお買い物などの際の送り迎えをお手伝いしています。利用を希望される方は、どうぞお気軽に社会福祉協議会へご相談下さい。



- 利用できる方
  - ・滝沢村に居住する、在宅の車いす使用者
  - ・普段は車いすを使用していないが、外出するには転倒のおそれがあり車いすが必要な方
- 利用料金
  - ・距離に応じた料金をお支払いしていただきます。(往復で最大3000円)
  - ・有料道路や有料駐車場の代金は利用者負担です。
- 運行範囲
  - ・滝沢村内および隣接する市町村
  - ・出発地、到着地のどちらかが滝沢村であること。
- 運転と介助
  - ・車輛の運転は、社協登録の運転ボランティアが行います。介助者は原則添乗していただきます。ホームヘルパーや家族など利用者で配慮していただきます。
- 利用登録と利用申込み
  - ・事前に会員登録をしていただきます。
  - ・利用予定日が決まったら、所定の申込書を提出していただきます。
  - ・申込みは利用予定日の1ヶ月前から1週間前までの間受け付けます。
  - ・1ヶ月の利用回数は原則として4回です。

シリーズ

# 「ご近所福祉「ココ」にあり！」

3. 11東日本大震災発生から半年が過ぎました。被災地には、今も全国各地から多くのボランティア等が集まり、復興支援の活動に取り組んでいます。

あの日、滝沢村内では、地震直後にどのような近所同士を支え合いが行われていたのでしょうか。独り暮らしの高齢者や民生委員の方たちから伺った話を紹介します。

難所に行きましよう。車に乗ってください。」と誘ってもらい、一晩避難所で過ごして帰宅した。ひとりで何かなんだか分からず困っているときに、声をかけてもらってうれしかった。

(川前・独居 女性)

地震の後、地域のひとり暮らしや高齢者世帯を回っていると、地区の方たちが次々と「自分の近所の高齢者は無事ですよ」と報告に来てくれた。皆、近所同士で安否を確認してくれていたの、安心した。

(元村・民生委員)

お隣さんから「電気も点かないしひとりでは心細いでしょうから、家に来てください。ストーブもあるし、皆で居ると怖くないですよ。」と言ってくれた。結局、お隣の家族と一緒に二晩過ごし、家に戻った。家族のように接してもらい、あの二日間はありがたかった。

(長根・独居 女性)

外出先で地震に遭遇し、慌てて帰宅した。その後、夕方にお隣さんから、「一緒に避

このように、日頃からの近所同士の助け合いが、地域の中で非常時に活かされていました。「お互いさまのまちづくり」の活動は、普段の支え合いだけでなく災害時にも発揮されていたことを知り、日頃から助け合いの意識を高めていくことの大切さを実感しました。

## 滝沢村社協 災害救援ボランティアセンター 東日本大震災への対応状況

滝沢村社会福祉協議会災害救援ボランティアセンターでは、東日本大震災で被害を受けた沿岸部への復興支援ボランティア活動を継続して行っています。

多くの滝沢村民を中心に協力いただいているこのボランティア活動には、県内市町村のみならず県外各地から、遠くは関東や九州、北海道から駆けつけた方もいらっしやいました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

これまでは浸水家屋の泥上げやがれき撤去などが活動の中心でしたが、今後は仮設住宅における支援や見守り活動などの活動が見込まれます。

引き続き皆様のご協力をいただきながら支援活動を進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

東日本大震災関連 ボランティア活動状況 (8月末現在)

活動内容	期 日	参加者数
救援物資仕分ボランティア	3/28~4/8 (12日間)	延べ242名
救援物資受付ボランティア	6/1~6/24 (18日)	延べ 42名
山 田 町 ボランティアバス	6/14~8/25 (17回)	延べ587名

### 山田町ボランティアバス 参加者募集

- 実施日  
9月22日(木)、29日(木)
- 集合場所  
滝沢村総合公園体育館駐車場に午前6時20分
- 活動内容  
がれき撤去、物資整理など。現地の災害ボランティアセンターの指示で内容変更の場合あり。
- 活動時間  
作業時間は10時~15時  
滝沢村帰着は19時を予定
- 交通手段  
滝沢村社協の用意する車輛で移動。
- 募集定員  
各日40名(先着順) 高校生以上の健康な方。村民及び村内在勤・在学の方を優先。但し村外の方の参加についてもご相談に応じます。
- 持ち物  
スコップ、昼食、飲料水、身分証明書(運転免許証等) 作業服(汚れてもいい服装)、雨合羽、ゴム手袋や作業用皮手袋、ゴーグル等目を保護するもの、マスク、長靴もしくは安全靴、帽子またはヘルメット、作業後の着替え、その他個人で必要な物品
- 申込み  
滝沢村社会福祉協議会へ電話にて申込み  
☎019-684-1110

## お気軽に相談にいらしてください 各種相談所を開設しています

社会福祉協議会では、村民の皆様を対象とした、各種相談所を開設しています。一人で悩みを抱え込まず、お気軽にご利用下さい。相談料は無料で秘密は守られます。

開催日	内容	会場	予約締切日
9/27(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
10/1(土)	認知症介護相談	スマイル・すまいる	予約不要
10/4(火)	相続・登記相談	スマイル・すまいる	9/30(金)
10/11(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
10/12(水)	知的障がい相談	スマイル・すまいる	予約不要
10/15(土)	休日くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
10/18(火)	法律相談	スマイル・すまいる	10/14(金)
10/25(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要

### 【開設時間】

- くらしの相談(くらしの相談員)：10時～12時
- 休日くらしの相談(くらしの相談員)：13時～15時
- 法律相談(弁護士)：10時～15時【予約制】
- 相続登記相談(司法書士)：10時～15時【予約制】
- 知的障がい相談(知的障がい者相談員)：10時～12時
- 認知症・高齢者介護相談(介護福祉士)：10時～12時

※予約等問い合わせはお早めに

滝沢村社会福祉協議会 684-1110  
 電話相談：老人福祉センター会場 684-1110  
 スマイル・すまいる会場 684-6141  
 ※スマイル・すまいるは滝沢中央交番の隣です。

## ご寄附ありがとうございました

平成二十三年七月一日から八月三十一日まで、次の方々からご寄附いただきました。

《福祉基金》

・大内一司 様(香典返し)

五〇〇,〇〇〇円

・高橋 昭 様

(睦大学教養講座講師謝金)

七,三八〇円

《送迎サービス事業へ》

・匿名(三件)

五,九二五円



福祉基金へご寄附くださった大内一司様(右)



《鵜飼南》

瀬川 礼夏(1歳6ヶ月) 親子

AQ AQ AQ AQ AQ AQ

お子さんが得意なことは？  
 みんなに笑顔で挨拶をすることです。  
 どんな大人になって欲しいですか？  
 責任感と思いやりがある大人になってほしいです。  
 子育ての楽しいところはどこですか？  
 たくさんの成長と笑顔を見られるところです。  
 子育てで心がけていることは何ですか？  
 注意するときには、ひと呼吸おいてから伝えること、遊ぶときには子どもと同じ目線で遊ぶことを心がけています。  
 ご意見・ご要望等お願いします  
 「スマイル・すまいるに行きたいひと」と言うのと「ハッピー」と返事をする程、スマイル・すまいるがお気に入りです。お気に入りのおもちゃもあって、楽しく元気に遊んでいます。近所にこういう遊び場があったとしても助かっています。

## 福祉柳

課題「雑詠」

引田 千柳 選

望まれて祝福されて子が五人

東根 弘子(川前)

年老いて 介護予防に

ウォーキング

久保 武夫(川前)

福祉の輪

元気あげたり

仙波 幸泉(川前)

日没の夕焼け空に明日の夢

細田 洋子(柳沢)

此処だけの 話がいつか

田口 共栄(川前)

次回課題 「騒ぐ」

応募先 〒〇二〇〇一七二

滝沢村鵜飼南中鵜飼四七一

滝沢村社会福祉協議会

「福祉川柳」係りまで

締め切り 十月十七日

投句数 ひとり三句まで

(掲載は五句となります)

※作品によっては添削する場合があります。